① タスクバーの虫眼鏡アイコンをクリックし[コントロールパネル]と入力し、[開く]をクリックします。



② [ネットワークとインターネット]をクリックします。



③ [ネットワークと共有センター]をクリックします。



④ [ネットワークと共有センター]で[新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

🂐 ネットワークと共有センタ	-				_		×
$\leftarrow \rightarrow ~ \checkmark ~ \uparrow$	↓ ベネットワークとインタ	ーネット > ネットワークと共有	『センター 、	~ C	コントロール パネルの検察	农	Q
コントロール パネル ホー	ム 基本ネ	ットワーク情報の表示と	と接続のセットアン	ップ			
アダプターの設定の変更 共有の詳細設定の変更 メディア ストリーミング オ	重 6667 更 6667 プション パブリ	ック ネットワーク		アクセスの 接続:	重類: インターネット <b>M</b> Wi-Fi (6667)		
	ネットワーク	7設定の変更					
	2	新しい接続またはネットワークのセットアップ ブロードパンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイントをセットアップします。			ス ポイ		
		問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断し	て修復します。または、	トラブルシュー	ティングに関する情報を入る	手します。	

⑤ [ワイヤレス ネットワークに手動で接続します]を選択し、[次へ(N)]をクリックします。



⑥ 以下の通りネットワーク情報を入力し、「次へ(N)」をクリックします。

ネットワーク名	SENSHUWL-X
セキュリティの種類	WPA2-エンタープライズ
暗号化の種類	AES

÷	🍨 ワイヤレス ネットワークに手動で接	統します	- • ×
	追加するワイヤレス ネットワー	ークの情報を入力します	
	ネットワーク名(E):	SENSHUWL-X	
	セキュリティの種類(S):	WPA2-エンタープライズ ~	
	暗号化の種類(R):	AES ~	
	セキュリティ キー(C):		文字を非表示にする(H)
	✓ この接続を自動的に開始しま ○ ネットワークがプロードキャストを 警告: 選択すると、このコンピューター	ミす(T) ミ行っていない場合でも接続する(O) のプライバシーが危険にさらされる可能†	性があります。
			次へ(N) キャンセル

⑦ 「接続の設定を変更します(H)」をクリックします。



## ⑧ 「セキュリティ」タブをクリックします。



③「ネットワークの認証方法の選択(O):」で「Microsoft:保護された EAP(PEAP)」が選択されていることを確認し、
 「設定(S)」をクリックします。

SENSHUWL-X ワイヤレス ネットワ	ークのプロパティ	×
接続 セキュリティ		
セキュリティの種類(E):	WPA2 - エンタープライズ ~	
暗号化の種類(N):	AES ~	
ネットワークの認証方法の選択	R(O):	
Microsoft: 保護された EAP	(PEAP) ~ 設定(S)	
🕗 ログオンするたびに、この接	続用の資格情報を使用する(R)	
詳細設定(D)		
	OK ++>>セ	JL _

⑩ [保護された EAP のプロパティ]画面で「証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)」にチェックを入れます。

イ保護された EAP のプロパティ	×
接続のための認証方法:	
☑ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)	
□ 次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(O):	
信頼されたルート証明機関(R):	
<ul> <li>AAA Certificate Services</li> <li>Baltimore CyberTrust Root</li> <li>Class 3 Public Primary Certification Authority</li> <li>DigiCert Assured ID Root CA</li> <li>DigiCert Global Root CA</li> <li>DigiCert Global Root G2</li> <li>DigiCert High Assurance EV Root CA</li> <li>Primicent Trusted Press C4</li> <li>接続前の通知(T):</li> <li>サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する </li> </ul>	
認証方法を選択する(S):	
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) ~ 構成(C)	
<ul> <li>              ● 高速再接続を有効にする(F)</li></ul>	
ОК <b>+</b> +у/2/	

⑪ 「Security Communication Root2CA2」にチェックを入れます。



② 「セキュリティで保護されたパスワード(EAP-MSCHAP V2)」を選択します。



③ [EAP MSCHAP v 2 のプロパティ]のウィンドウが出るので、
 [Windows のログオン名とパスワード(およびドメインがある場合はドメイン)を自動的に使う(A)]

のチェックを外し、[OK]をクリックします。

EAP MSCHAPv2 のプロパティ X	
接続のための認証方法:	
□ Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場 合はドメイン) を自動的に使う(A)	
OK         キャンセル	
Microsoft Time Stamp Root Certificate Authority 2014     Security Communication Root CA1	
Security Communication RootCA1	
Starfield Class 2 Certification Authority	
support	
Symantec Enterprise Mobile Root for Microsoft	
接続前の通知(T):	
サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する 🗸 🗸	
認証方法を選択する(S):	
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) V 構成(C)	
✓ 高速再接続を有効にする(F) サーバーに暗号化パインドのTLV がない場合は切断する(D) □ ワースーパーに暗号化パインドのTLV がない場合は切断する(D)	
0K =+7721	J

(④) ⑧のセキュリティタブに戻り、[詳細設定(D)]をクリックします。



⑤ [802.1X の設定]タブの[認証モードを設定する(P)]にチェックを入れます。



16 [ユーザー認証]を選択し、[OK]をクリックします。



⑰ [SENSHUWL-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ]画面で[OK]をクリックします。

	「SENSHUWL-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ			
接続 セキュリティ				
セキュリティの種類(E):	WPA2 - エンタープライズ	~		
暗号化の種類(N):	AES	~		
ネットワークの認証方法の違	瞿択(O):			
Microsoft: 保護された EA	AP (PEAP) ~ 設定(S)			
詳細設定(D)				

18 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]画面で[閉じる]をクリックしたら完了です。

		_		×
← 🔮	ワイヤレス ネットワークに手動で接続します			
Ĩ	常に SENSHUWL-X を追加しました			
	→ 接続の設定を変更します(H) 接続のプロパティを開き、設定を変更します。			
			閉じ	ð